授業科目	学科総合学習		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	選択	単位数
授業形態			授業回数	15回	時間数
授業目的	学内・学外イベントの説明や準備、連絡事項の伝達、ビジネススキルなど学科の通常授業外に関わることを全般を学習する。				
到達目標	学校生活全般に関わる内容を理解し、身につけることを目標とする。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	授業への取り組み姿勢で評価します。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	0			
その他	100				
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	2	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	3	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	4	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	5	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	6	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	7	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	8	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	9	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	10	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	11	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
12	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する			

	13	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
	14	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
	15	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する

授業科目	学科総合学習		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	選択	単位数
授業形態			授業回数	15回	時間数
授業目的	学内・学外イベントの説明や準備、連絡事項の伝達、ビジネススキルなど学科の通常授業外に関わることを全般を学習する。				
到達目標	学校生活全般に関わる内容を理解し、身につけることを目標とする。				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	授業への取り組み姿勢で評価します。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	0			
	その他	100			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	2	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	3	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	4	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	5	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	6	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	7	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	8	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	9	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	10	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	11	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		
	12	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する		

	13	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
	14	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する
	15	授業・イベント・就職等に合わせた様々な取り組みを実施	他の定例授業で補えない事項を実施する

授業科目	社会実習		担当教員	教員 未登録	
対象年次・学期			必修・選択区分	単位数	
授業形態			授業回数	時間数	
授業目的					
到達目標					
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		

授業科目	社会実習		担当教員	教員 未登録	
対象年次・学期			必修・選択区分	単位数	
授業形態			授業回数	時間数	
授業目的					
到達目標					
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		

授業科目	社会実習		担当教員	教員 未登録	
対象年次・学期			必修・選択区分	単位数	
授業形態			授業回数	時間数	
授業目的					
到達目標					
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		

授業科目	社会実習		担当教員	教員 未登録	
対象年次・学期			必修・選択区分	単位数	
授業形態			授業回数	時間数	
授業目的					
到達目標					
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		

授業科目	社会実習		担当教員	教員 未登録	
対象年次・学期			必修・選択区分	単位数	
授業形態			授業回数	時間数	
授業目的					
到達目標					
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		

授業科目	社会実習		担当教員	教員 未登録	
対象年次・学期			必修・選択区分	単位数	
授業形態			授業回数	時間数	
授業目的					
到達目標					
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		

授業科目	社会実習		担当教員	教員 未登録	
対象年次・学期			必修・選択区分	単位数	
授業形態			授業回数	時間数	
授業目的					
到達目標					
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		

授業科目	社会実習		担当教員	教員 未登録	
対象年次・学期			必修・選択区分	単位数	
授業形態			授業回数	時間数	
授業目的					
到達目標					
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		

授業科目	社会実習		担当教員	教員 未登録	
対象年次・学期			必修・選択区分	単位数	
授業形態			授業回数	時間数	
授業目的					
到達目標					
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		

授業科目	社会実習		担当教員	教員 未登録	
対象年次・学期			必修・選択区分	単位数	
授業形態			授業回数	時間数	
授業目的					
到達目標					
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0			
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	60			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		

授業科目	Web フロントエンドフレームワーク	担当教員	佐々木 博幸		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	23回	時間数	45時間
授業目的	現在アプリケーションの主要基盤となっている Web フロントエンドフレームワークの環境構築とサーバーとの連携の基本を学びます。				
到達目標	Web フロントエンドフレームワークの React を使ってシステムを構築するための基礎知識を身に付ける。				
テキスト・参考図書等	モダン JavaScript の基本から始める React 実践の教科書				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験		基本的なアプリケーションを作成しソースコードと環境設定ファイルを提出し評価する。		
	レポート				
	小テスト				
	提出物	60			
その他	40				
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	React の概要	React の現状と使われ方を学ぶ		
	2	React の開発環境の構築	React の開発環境の設定と構築を行う		
	3	React のハンズオン	React によるアプリケーション開発の流れを体験する		
	4	React のハンズオン	React によるアプリケーション開発の流れを体験する		
	5	React のハンズオン	React によるアプリケーション開発の流れを体験する		
	6	React のハンズオン	React によるアプリケーション開発の流れを体験する		
	7	React でアプリケーションの開発	React による簡単なアプリケーションの制作を行う		
	8	React でアプリケーションの開発	React による簡単なアプリケーションの制作を行う		
	9	React でアプリケーションの開発	React による簡単なアプリケーションの制作を行う		
	10	React でアプリケーションの開発	React による簡単なアプリケーションの制作を行う		
	11	React でアプリケーションの開発	React による簡単なアプリケーションの制作を行う		
	12	Next.js の基礎	Next.js の基本アプリの作成する		
	13	Next.js の基礎	Next.js の基本アプリの作成する		
	14	Next.js の基礎	Next.js と CSS の連携アプリの基本を学ぶ		
	15	React と REST API の連携	Node.js と連携したアプリケーションの作成を行う		
	16	React と REST API の連携	Node.js と連携したアプリケーションの作成を行う		
	17	React と REST API の連携	Node.js と連携したアプリケーションの作成を行う		
	18	React と REST API の連携	Node.js と連携したアプリケーションの作成を行う		
	19	React による課題演習	簡単なアプリケーションの開発を行う		
20	React による課題演習	簡単なアプリケーションの開発を行う			

	21	React による課題演習	簡単なアプリケーションの開発を行う
	22	React による課題演習	簡単なアプリケーションの開発を行う
	23	React による課題演習	簡単なアプリケーションを開発し提出する

授業科目	チーム制作	担当教員	坂本 耕一		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	45回	時間数	90時間
授業目的	この授業は1年次までに学んだ学習スキルを生かして、企業や団体とともにシステム開発に取り組む「超実践プロジェクト」です。担当企業は顧客ユーザーと指導講師とを兼任します。システム開発に関する方法だけでなく、チームでの仕事の進め方や、企業で求められるビジネスマナーについても学ぶことも目的の一つである。				
到達目標	企業や団体から提案されたWebシステムを完成させること				
テキスト・参考図書等	特になし				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	レポートと課題提出・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	40			
	小テスト	0			
	提出物	40			
その他	20				
履修上の留意事項	チーム制作はグループで取り組む内容になります。一人一人がコミュニケーション（報告・連絡・確認・相談）をしっかりと意識し、決められた期限の中で必ず終了し、最終の報告プレゼンテーションに臨んでください。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	2	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	3	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	4	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	5	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	6	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	7	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	8	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	9	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	10	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	11	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	12	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	13	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	14	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	15	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	16	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
	17	チームでのシステム開発（産学連携）	要件定義		
18	チームでのシステム開発	要件定義			

	(産学連携)	
19	チームでのシステム開発 (産学連携)	要件定義
20	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
21	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
22	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
23	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
24	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
25	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
26	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
27	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
28	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
29	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
30	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
31	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
32	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
33	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
34	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
35	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
36	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
37	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
38	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
39	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
40	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
41	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
42	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
43	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
44	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計
45	チームでのシステム開発 (産学連携)	外部設計

授業科目	チーム制作	担当教員	坂本 耕一		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	45回	時間数	90時間
授業目的	この授業は1年次までに学んだ学習スキルを生かして、企業や団体とともにシステム開発に取り組む「超実践プロジェクト」です。担当企業は顧客ユーザーと指導講師とを兼任します。システム開発に関する方法だけでなく、チームでの仕事の進め方や、企業で求められるビジネスマナーについても学ぶことも目的の一つである。				
到達目標	企業や団体から提案されたWebシステムを完成させること				
テキスト・参考図書等	特になし				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	レポートと課題提出・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	80			
その他	20				
履修上の留意事項	チーム制作ははグループで取り組む内容になります。一人一人がコミュニケーション（報告・連絡・確認・相談）をしっかりと意識し、決められた期限の中で必ず終了し、最終の報告プレゼンテーションに臨んでください。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	2	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	3	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	4	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	5	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	6	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	7	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	8	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	9	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	10	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	11	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	12	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	13	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	14	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	15	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	16	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
	17	チームでのシステム開発（産学連携）	詳細設計		
18	チームでのシステム開発	詳細設計			

	(産学連携)	
19	チームでのシステム開発 (産学連携)	詳細設計
20	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
21	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
22	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
23	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
24	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
25	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
26	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
27	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
28	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
29	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
30	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
31	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
32	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
33	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
34	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
35	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
36	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
37	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
38	チームでのシステム開発 (産学連携)	プログラミング
39	チームでのシステム開発 (産学連携)	テストの実施
40	チームでのシステム開発 (産学連携)	テストの実施
41	チームでのシステム開発 (産学連携)	テストの実施
42	チームでのシステム開発 (産学連携)	テストの実施
43	チームでのシステム開発 (産学連携)	テストの実施
44	チームでのシステム開発 (産学連携)	プレゼンテーション準備
45	チームでのシステム開発 (産学連携)	プレゼンテーション準備

授業科目	コンピュータリテラシー		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	23回	時間数 45時間
授業目的	基本情報技術者試験のシステム開発技術分野（データベース・ネットワーク・情報セキュリティ）の学習				
到達目標	基本情報技術者試験のマネジメントと情報化の理解				
テキスト・参考図書等	システム開発技術（ウィネット）				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	50	評価試験、レポートと課題提出・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	20			
	提出物	10			
その他	20				
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	システム開発とマネジメント	システム開発とは システム設計、ソフトウェア設計		
	2	システム開発とマネジメント	プロジェクトマネジメント		
	3	サービスマネジメントとシステム戦略	サービスマネジメント		
	4	サービスマネジメントとシステム戦略	企業におけるシステム戦略		
	5	企業と経営戦略	企業活動		
	6	企業と経営戦略	ビジネス戦略		
	7	OR/IE	応用数学		
	8	OR/IE	OR/IE		
	9	企業会計	企業会計		
	10	企業会計	財務諸表		
	11	法務と標準化	知的財産と標準化		
	12	法務と標準化	知的財産と標準化		
	13	問題演習	問題演習		
	14	問題演習	問題演習		
	15	問題演習	問題演習		
	16	問題演習	問題演習		
	17	問題演習	問題演習		
	18	問題演習	問題演習		
	19	問題演習	問題演習		
	20	問題演習	問題演習		
	21	問題演習	問題演習		
	22	問題演習	問題演習		
23	問題演習	問題演習			

授業科目	基本情報対策		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30回	時間数 60時間
授業目的	国家試験（基本情報技術者試験）の合格に向けた、科目A試験・科目B試験の講義と問題演習をすることが目的です。				
到達目標	国家試験（基本情報技術者試験）の合格				
テキスト・参考図書等	科目Aテキストセット+アルゴリズムとデータ構造（ウィネット）				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	「小テスト」は授業内で行う模擬試験等の結果 「提出物」は課題で取り組む問題演習の結果 その他授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	40			
その他	30				
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	2	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	3	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	4	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	5	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	6	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	7	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	8	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	9	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	10	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	11	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	12	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	13	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	14	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	15	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	16	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	17	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
18	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策			

19	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
20	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
21	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
22	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
23	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
24	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
25	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
26	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
27	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
28	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
29	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
30	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策

授業科目	基本情報対策		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	30回	時間数 60時間
授業目的	国家試験（基本情報技術者試験）の合格に向けた、科目A試験・科目B試験の講義と問題演習をすることが目的です。				
到達目標	国家試験（基本情報技術者試験）の合格				
テキスト・参考図書等	科目Aテキストセット+アルゴリズムとデータ構造（ウィネット）				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	「小テスト」は授業内で行う模擬試験等の結果 「提出物」は課題で取り進む問題演習の結果 その他授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	40			
その他	30				
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	2	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	3	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	4	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	5	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	6	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	7	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	8	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	9	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	10	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	11	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	12	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	13	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	14	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	15	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	16	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
	17	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策		
18	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目A試験対策			

19	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
20	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
21	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
22	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
23	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
24	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
25	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
26	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
27	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
28	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
29	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策
30	試験対策	授業内容国家試験（基本情報技術者試験等）の科目 A 試験対策

授業科目	Web バックエンドフレームワーク	担当教員	佐々木 博幸		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	23回	時間数	45時間
授業目的	Web フレームワークの環境構築から作成の基本を学びます。				
到達目標	Web フレームワークの Laravel を使ってシステムを構築するための基礎知識を身に付ける。				
テキスト・参考図書等	Laravel の教科書 Ver10 対応				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	基本的な設定ファイルやソースコードを提出し評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	60			
その他	40				
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	開発環境の学習	Laravel の sail による開発環境の設定と理解		
	2	開発環境の学習	Laravel の sail による開発環境の設定と理解		
	3	開発環境の学習	Laravel の sail による開発環境の設定と理解		
	4	開発環境の学習	Laravel の sail による開発環境の設定と理解		
	5	掲示板の作成	データ投稿ページの作成		
	6	掲示板の作成	データ投稿ページの作成		
	7	掲示板の作成	データ投稿ページの作成		
	8	掲示板の作成	データ投稿ページの作成		
	9	コードの意味の理解	ルーター、コントローラー、ビューの理解と設定		
	10	掲示板の作成	データ投稿ページの作成		
	11	掲示板の作成	データ投稿ページの作成		
	12	掲示板の作成	データ投稿ページの作成		
	13	掲示板の作成	データ投稿ページの作成		
	14	掲示板の作成	データ投稿ページの作成		
	15	データベース連携	データの CRUD を実装する。		
	16	データベース連携	データの CRUD を実装する。		
	17	データベース連携	データの CRUD を実装する。		
	18	データベース連携	データの CRUD を実装する。		
	19	テストデータ作成・ページネーション	テストデータの作成とページ分割、コンポーネントの新規作成		
	20	テストデータ作成・ページネーション	テストデータの作成とページ分割、コンポーネントの新規作成		
	21	テストデータ作成・ページネーション	テストデータの作成とページ分割、コンポーネントの新規作成		
22	テストデータ作成・ページネーション	テストデータの作成とページ分割、コンポーネントの新規作成			

	23	エラー対応	エラーの解決方法
--	----	-------	----------

授業科目	Web 技術研究		担当教員	佐々木 博幸	
対象年次・学期	2年・前期		必修・選択区分	必修	単位数
授業形態			授業回数	23回	時間数 45時間
授業目的	Web バックエンドフレームワークを活用したシステム開発を行います。PHP およびフレームワーク、データベース、Bootstrap を利用したシステムの効率の良い開発方法を学習します。				
到達目標	Web バックエンドフレームワークを使った問題解決のためのシステム開発ができるようになる。				
テキスト・参考図書等	なし				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	システムを提出し、使われている技術や応用、システムのエラーチェック範囲などを評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	60			
その他	40				
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	開発環境の構築・設計	フレームワークを使ったシステム開発環境の構築とシステム設計		
	2	開発環境の構築・設計	フレームワークを使ったシステム開発環境の構築とシステム設計		
	3	開発環境の構築・設計	フレームワークを使ったシステム開発環境の構築とシステム設計		
	4	開発環境の構築・設計	フレームワークを使ったシステム開発環境の構築とシステム設計		
	5	開発環境の構築・設計	フレームワークを使ったシステム開発環境の構築とシステム設計		
	6	システム開発	フレームワークを使ったシステム開発・コーディング		
	7	システム開発	フレームワークを使ったシステム開発・コーディング		
	8	システム開発	フレームワークを使ったシステム開発・コーディング		
	9	システム開発	フレームワークを使ったシステム開発・コーディング		
	10	システム開発	フレームワークを使ったシステム開発・コーディング		
	11	システム開発	フレームワークを使ったシステム開発・コーディング		
	12	システム開発	フレームワークを使ったシステム開発・コーディング		
	13	システム開発	フレームワークを使ったシステム開発・コーディング		
	14	システム開発	フレームワークを使ったシステム開発・コーディング		
	15	システム開発	フレームワークを使ったシステム開発・コーディング		
	16	システムの評価とリファクタリング	フレームワークを使ったシステムの評価とリファクタリングの実施		
	17	システムの評価とリファクタリング	フレームワークを使ったシステムの評価とリファクタリングの実施		
	18	システムの評価とリファクタリング	フレームワークを使ったシステムの評価とリファクタリングの実施		
	19	システムの評価とリファクタリング	フレームワークを使ったシステムの評価とリファクタリングの実施		
20	システムのデプロイ	フレームワークを使ったシステムのデプロイと評価			

	21	システムのデプロイ	フレームワークを使ったシステムのデプロイと評価
	22	システムのデプロイ	フレームワークを使ったシステムのデプロイと評価
	23	システムの発表	デプロイしたシステムの発表

授業科目	サーバー応用	担当教員	佐々木 博幸		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分		単位数	
授業形態		授業回数	23回	時間数	45時間
授業目的	「イントラネット/インターネットサーバを構築・管理するための技術」や「サーバを管理・運用していくためのセキュリティ対策」などを学習する。				
到達目標	基本的なサーバ管理・構築運用ができること				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	設定ファイル・サーバー稼働確認の課題の提出とレポート・小テスト・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	10			
	小テスト	10			
	提出物	60			
その他	20				
履修上の留意事項	他の授業で学んだネットワークに関する知識も必要です。十分に復習し、授業に臨んでください。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	サーバー環境の構築	コンテナ技術		
	2	サーバー環境の構築	コンテナ技術		
	3	サーバー環境の構築	コンテナ技術		
	4	サーバー環境の構築	コンテナ技術		
	5	SSH、FTP サーバーの構築			
	6	WEB サーバーの構築 (Apache 偏)			
	7	WEB サーバーの構築 (Nginx 偏)			
	8	Web サーバーの暗号化			
	9	アプリケーションサーバーの構築と設定			
	10	OSS サーバーソフトのコンパイル			
	11	オンプレミスセキュリティ設定			
	12	オンプレミスセキュリティ設定			
	13	ログファイルの可視化			
	14	サービスの自動化			
	15	サービスの自動化			
	16	サービスの自動化			
	17	サービスの設計と構築			
	18	サービスの設計と構築			
	19	サービスの設計と構築			
	20	サービスの設計と構築			
21	サービスの設計と構築				

	22	サービスの設計と構築	
	23	サービスの設計と構築	

授業科目	クラウドサーバー	担当教員	佐々木 博幸		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分		単位数	
授業形態		授業回数	23回	時間数	45時間
授業目的	AWS上に「イントラネット/インターネットサーバを構築・管理するための技術」や「サーバを管理・運用していくためのセキュリティ対策」などを学習する。				
到達目標	AWSのクラウドサービスを使って基本的なサーバ管理とサービスの構築運用ができること				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	AWSコンソールを使用した設定ファイル・サーバー稼働確認の課題の提出とレポート・小テスト・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	10			
	小テスト	10			
	提出物	60			
その他	20				
履修上の留意事項	AWSコンソールの利用方法と各種サービスの理解を進めてください。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	VPCとは	VPCの構築と意味を理解します。		
	2	EC2によるWebサーバー構築	VPC上にEC2インスタンスを起動します。		
	3	VPCによるパブリックネットワーク、プライベートネットワーク	パブリックネットワークとプライベートネットワークでセキュアな環境を構築します。		
	4	DynamoDB	NoSQLデータベースの基本を理解します。		
	5	Lambda	サーバーレス環境のプログラミングを理解します。		
	6	API Gateway	LambdaとDynamoDBによるシステムを呼び出します。		
	7	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	8	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	9	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	10	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	11	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	12	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	13	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	14	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	15	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	16	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	17	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	18	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	19	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	20	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
	21	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。		
22	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。			

	23	サービスの設計と構築	クラウドを使ったサービスの設計と実装を行います。
--	----	------------	--------------------------

授業科目	ネットワーク実践	担当教員	福田 和宏		
対象年次・学期		必修・選択区分		単位数	
授業形態		授業回数	23 回	時間数	45 時間
授業目的	ネットワークについて理解し、実際にネットワークを構築する				
到達目標	IPv4 ネットワークについて理解し、ルーター、DHCP などを利用したネットワークを構築する				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0			
	レポート	50			
	小テスト	0			
	提出物	0			
	その他	50			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	ガイダンス。ネットワークとは	ネットワークについての基本について確認する		
	2	ネットワーク設計	演習で構築するネットワークを設計する		
	3	サーバー操作	Linux の構築や操作、パッケージ管理について確認する		
	4	サーバー操作	Linux の構築や操作、パッケージ管理について確認する		
	5	ネットワーク設定	ホストでのネットワーク設定の基本を理解する		
	6	ネットワーク設定	ホストでのネットワーク設定の基本を理解する		
	7	IPv4 ネットワークルーティング	IPv4 ネットワークでのルーターを構築し、小規模ネットワークを実現する		
	8	IPv4 ネットワークルーティング	IPv4 ネットワークでのルーターを構築し、小規模ネットワークを実現する		
	9	IPv4 ネットワークルーティング	IPv4 ネットワークでのルーターを構築し、小規模ネットワークを実現する		
	10	IPv4 ネットワークルーティング	IPv4 ネットワークでのルーターを構築し、小規模ネットワークを実現する		
	11	IPv4 ネットワークルーティング	IPv4 ネットワークでのルーターを構築し、小規模ネットワークを実現する		
	12	DHCP	DHCP (IPv4) を利用したネットワーク情報の自動配付について実現する		
	13	DHCP	DHCP (IPv4) を利用したネットワーク情報の自動配付について実現する		
	14	DHCP	DHCP (IPv4) を利用したネットワーク情報の自動配付について実現する		
	15	DNS	DNS (IPv4) を構築し名前解決を実現する		
	16	DNS	DNS (IPv4) を構築し名前解決を実現する		
	17	DNS	DNS (IPv4) を構築し名前解決を実現する		
	18	DNS	DNS (IPv4) を構築し名前解決を実現する		
	19	DNS	DNS (IPv4) を構築し名前解決を実現する		
	20	ファイアウォール構築	パケットフィルタリング型ファイアウォールを構築する		

	21	ファイアウォール構築	パケットフィルタリング型ファイアウォールを構築する
	22	レポート製作	構築したネットワークのレポートを製作する
	23	レポート製作	構築したネットワークのレポートを製作する

授業科目	ネットワーク実践		担当教員	福田 和宏	
対象年次・学期			必修・選択区分	単位数	
授業形態			授業回数	23 回	時間数 45 時間
授業目的	ネットワークについて理解し、実際にネットワークを構築する				
到達目標	IPv4 ネットワークについて理解し、ネットワークを構築する。また、VPN の構築をする				
テキスト・参考図書等					
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0			
	レポート	50			
	小テスト	0			
	提出物	0			
	その他	50			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	ネットワーク設計	演習で構築するネットワークを設計する		
	2	IPv6 ネットワークについて	IPv6 ネットワークの基本を理解する		
	3	IPv6 ネットワークルーティング	IPv6 ネットワークでのルーターを構築し、小規模ネットワークを実現する。また RA について理解する		
	4	IPv6 ネットワークルーティング	IPv6 ネットワークでのルーターを構築し、小規模ネットワークを実現する。また RA について理解する		
	5	IPv6 ネットワークルーティング	IPv6 ネットワークでのルーターを構築し、小規模ネットワークを実現する。また RA について理解する		
	6	IPv6 ネットワークルーティング	IPv6 ネットワークでのルーターを構築し、小規模ネットワークを実現する。また RA について理解する		
	7	IPv6 ネットワークルーティング	IPv6 ネットワークでのルーターを構築し、小規模ネットワークを実現する。また RA について理解する		
	8	DHCPv6	IPv6 でステートレス・アドレス自動設定をできるようにする		
	9	DHCPv6	IPv6 でステートレス・アドレス自動設定をできるようにする		
	10	DNS	DNS を IPv6 に対応する		
	11	DNS	DNS を IPv6 に対応する		
	12	アプリケーションレベルゲートウェイ	プロキシサーバーを設置しファイアウォールを実現する		
	13	アプリケーションレベルゲートウェイ	プロキシサーバーを設置しファイアウォールを実現する		
	14	アプリケーションレベルゲートウェイ	プロキシサーバーを設置しファイアウォールを実現する		
	15	アプリケーションレベルゲートウェイ	プロキシサーバーを設置しファイアウォールを実現する		
	16	SSH ポートフォワーディング	SSH ポートフォワーディングを利用し簡易 VPN を構築		
	17	SSH ポートフォワーディング	SSH ポートフォワーディングを利用し簡易 VPN を構築		
	18	VPN	VPN を構築する		
19	VPN	VPN を構築する			

	20	VPN	VPN を構築する
	21	VPN	VPN を構築する
	22	レポート制作	構築したネットワークのレポートを製作する
	23	レポート制作	構築したネットワークのレポートを製作する

授業科目	共同開発	担当教員	坂本 耕一		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	選択	単位数	
授業形態		授業回数	30回	時間数	60時間
授業目的	1年次に上級生から学んだ Web システム作成のノウハウを、立場を変え教える側に回ることにより、知識技術の理解力向上を目的としています。				
到達目標	下級生の Web システム課題を完成へ導くこと。その過程でインストラクション能力とコミュニケーション能力の向上				
テキスト・参考図書等	特になし				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	レポートと提出物・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	20			
	小テスト	0			
	提出物	60			
	その他	20			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	2	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	3	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	4	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	5	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	6	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	7	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	8	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	9	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	10	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	11	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	12	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	13	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	14	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	15	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	16	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	17	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	18	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		

19	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
20	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
21	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
22	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
23	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
24	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
25	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
26	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
27	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
28	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
29	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
30	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス

授業科目	共同開発	担当教員	坂本 耕一		
対象年次・学期	2年・後期	必修・選択区分	選択	単位数	
授業形態		授業回数	30回	時間数	60時間
授業目的	1年次に上級生から学んだ Web システム作成のノウハウを、立場を変え教える側に回ることにより、知識技術の理解力向上を目的としています。				
到達目標	下級生の Web システム課題を完成へ導くこと。その過程でインストラクション能力とコミュニケーション能力の向上				
テキスト・参考図書等	特になし				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	レポートと提出物、授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	20			
	小テスト	0			
	提出物	60			
	その他	20			
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	2	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	3	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	4	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	5	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	6	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	7	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	8	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	9	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	10	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	11	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	12	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	13	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	14	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	15	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	16	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	17	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		
	18	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス		

19	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
20	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
21	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
22	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
23	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
24	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
25	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
26	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
27	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
28	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
29	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス
30	Web システム作成コーチング	課題として与えられた Web システムの作成のアドバイス

授業科目	卒業研究		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	選択	単位数
授業形態			授業回数	38回	時間数 75時間
授業目的	最新技術などの 中からテーマを選択し、卒業後のITエンジニアとしての探求の足掛かりとして調査・研究・実践を行います。コンテストへの応募、ハッカソンへの参加も目指します。				
到達目標	研究結果（取組）報告書の作成				
テキスト・参考図書等	特になし				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	課題提出・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	80			
その他	20				
履修上の留意事項	研究内容によっては各自に必要な物品等を用意する必要があります。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	卒業研究	研究テーマの決定		
	2	卒業研究	研究テーマの決定		
	3	卒業研究	研究テーマの決定		
	4	卒業研究	実施計画		
	5	卒業研究	実施計画		
	6	卒業研究	実施計画		
	7	卒業研究	実施計画		
	8	卒業研究	実施計画		
	9	卒業研究	実施計画		
	10	卒業研究	実施計画		
	11	卒業研究	実施計画		
	12	卒業研究	実施計画		
	13	卒業研究	実施計画		
	14	卒業研究	研究開発準備		
	15	卒業研究	研究開発準備		
	16	卒業研究	研究開発準備		
	17	卒業研究	研究開発準備		
	18	卒業研究	研究開発準備		
	19	卒業研究	研究開発準備		
	20	卒業研究	研究開発準備		
	21	卒業研究	研究開発準備		
	22	卒業研究	研究開発準備		
23	卒業研究	研究開発準備			

24	卒業研究	研究開発準備
25	卒業研究	研究開発準備
26	卒業研究	研究開発準備
27	卒業研究	研究開発準備
28	卒業研究	研究開発準備
29	卒業研究	研究開発準備
30	卒業研究	研究開発準備
31	卒業研究	研究開発準備
32	卒業研究	研究開発準備
33	卒業研究	研究開発準備
34	卒業研究	研究開発準備
35	卒業研究	研究開発準備
36	卒業研究	研究開発準備
37	卒業研究	研究開発準備
38	卒業研究	研究開発準備

授業科目	卒業研究		担当教員	坂本 耕一	
対象年次・学期	2年・後期		必修・選択区分	選択	単位数
授業形態			授業回数	38回	時間数 75時間
授業目的	最新技術などの 中からテーマを選択し、卒業後の IT エンジニアとしての探求の足掛かりとして調査・研究・実践を行います。コンテストへの応募、ハッカソンへの参加も目指します。				
到達目標	研究結果（取組）報告書の作成				
テキスト・参考図書等	特になし				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	レポートと課題提出・授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	0			
	提出物	80			
その他	20				
履修上の留意事項	研究内容によっては各自に必要な物品等を用意する必要があります。				
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	卒業研究	開発		
	2	卒業研究	開発		
	3	卒業研究	開発		
	4	卒業研究	開発		
	5	卒業研究	開発		
	6	卒業研究	開発		
	7	卒業研究	開発		
	8	卒業研究	開発		
	9	卒業研究	開発		
	10	卒業研究	開発		
	11	卒業研究	開発		
	12	卒業研究	開発		
	13	卒業研究	開発		
	14	卒業研究	開発		
	15	卒業研究	開発		
	16	卒業研究	開発		
	17	卒業研究	開発		
	18	卒業研究	開発		
	19	卒業研究	開発		
	20	卒業研究	開発		
	21	卒業研究	開発		
	22	卒業研究	開発		
23	卒業研究	開発			

24	卒業研究	開発
25	卒業研究	開発
26	卒業研究	開発
27	卒業研究	開発
28	卒業研究	開発
29	卒業研究	開発
30	卒業研究	開発
31	卒業研究	開発
32	卒業研究	開発
33	卒業研究	開発
34	卒業研究	開発
35	卒業研究	開発
36	卒業研究	開発
37	卒業研究	開発
38	卒業研究	開発

授業科目	基本情報対策	担当教員	坂本 耕一		
対象年次・学期	2年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	
授業形態		授業回数	38回	時間数	75時間
授業目的	国家試験（基本情報技術者試験）の合格に向けた、科目B試験の講義と問題演習をすることが目的です。				
到達目標	国家試験（基本情報技術者試験）の合格				
テキスト・参考図書等	アルゴリズムとデータ構造（ウイネット）				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	0	「小テスト」は授業内で行う模擬試験等の結果 「提出物」は課題で取り進む問題演習の結果 その他授業中の取り組み姿勢で評価する。		
	レポート	0			
	小テスト	30			
	提出物	40			
その他	30				
履修上の留意事項					
履修主題・履修内容	回	履修主題	履修内容		
	1	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	2	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	3	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	4	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	5	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	6	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	7	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	8	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	9	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	10	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	11	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	12	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	13	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	14	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	15	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	16	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	17	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	18	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	19	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	20	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	21	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
	22	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策		
23	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策			

24	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
25	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
26	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
27	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
28	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
29	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
30	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
31	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
32	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
33	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
34	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
35	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
36	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
37	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策
38	試験対策	国家試験（基本情報技術者試験）の直前対策